

歯石の正体は何? 歯垢との違いは?

歯石というのは、歯の上に石のようにたまる白色、もしくは黄白色の塊です。歯石は歯垢とよく混同されることがありますが、次のような違いがあります。



歯垢(プラーク)

歯垢(プラーク)は歯と歯茎の境目に溜まりやすい黄白色のネバネバしたもので、歯ブラシで擦ると落とすことができます。歯垢は細菌の集合体であり、その中に含まれるむし歯菌や歯周病菌により、むし歯や歯周病が引き起こされます。



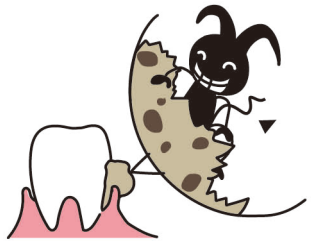
歯石

歯石は歯垢が元になり、そこに唾液中のカルシウムやリンなどがくっついてできたものです。石のように硬くなっているため、歯ブラシで落とすことはできず、歯科医院の専用の器具で落とす必要があります。歯石を放置していると、歯周病を発症・悪化させる原因となります。



歯石が歯周病の原因になる理由

歯石が歯周病を発症・悪化させてしまう理由として、歯石の表面には無数の穴が開いており、そこに細菌が入り込んでしまう、ということが挙げられます。そのため、歯石がついたまま放置していると、



その内部や表面に棲みついた細菌が常に毒素を出し続け、歯周病を引き起こしてしまうのです。



また、歯石はだんだんと蓄積して大きくなっていきます。そうすると、歯茎の溝に歯石が蓋をしまい、溝の中が空気の少ない環境になります。そのような環境では、空気を嫌う歯周病菌が繁殖し、今度は歯を支

えている骨などの組織を破壊し始め、歯周病がさらに進行してしまいます。歯石というのは、誰でも程度の差はあれ、ついてしまうものです。定期的に歯科で歯石取りを受けましょう。



入れ歯は毎日使うとても大切な道具

毎日をストレスなく過ごすために自分に合った入れ歯を使いましょう

次のような入れ歯のお悩みはお気軽にご相談ください



入れ歯には保険適用のものと自費(保険適用外)のものがあります。保険の入れ歯は、安価に作ることができますが、使用できる材料、設計に制限があり、「噛む機能の回復」を主眼においた入れ歯ということになります。そのため、見た目や快適さなどに関しては満足な結果が得られないこともあります。

それに対し、自費の入れ歯は費用は高くなりますが、使う材料や設計も自由にできるため見た目や使い心地など、ご自身に合ったタイプの入れ歯を作ることが可能です。入れ歯でお悩みの方はご相談ください。